

2023 年(令和 5 年)3 月 15 日

大庭小だより



藤沢市立大庭小学校

校長 小野田 孝子

「学校づくりアンケート」結果報告と学校評価について

一集計結果からの考察一 (今年度も、円グラフにしてお示ししています)

児童のアンケートは、3年生と5年生に行っています。今年度は、大庭っ子オリンピックを初めとして、各学年遠足や社会科見学などを行い、児童の活動については、コロナ前と同様に進めてきました。授業の中での話し合い活動も時間を制限して、あるいは場の設定を工夫するなどして、児童の発言を大事に尊重しながらの授業となりました。今年度もまた、マスクが取れない一年間でしたので、児童の表情まで読み取ることがなかなかかなわず、コロナ前に戻ったとはとても言い難いのですが、できることが増えていることに、まずは一歩踏み出せているのではないかと感じています。これからは、コロナの影響を受け、感情が上手に出せなくなってしまう児童の悩みや思いに寄り添った、内面へのフォローもしっかりと行っていきたいと思っています。

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:思わない

(児童の集計結果から)

・1番の「学校に楽しく通うことができる」の質問に対し、今年度3年生はA,Bあわせて96%を超え、学校生活の充実を感じることができました。逆に今年度の5年生は、85%にとどまっており、学習の難しさや人間関係の難しさなどが影響しているように見えます。給食の黙食も当たり前になっていますが、やはり以前に楽しく会話しながらの食事経験のある5年生からすると、早くコロナ前の状態に戻りたいという切実な思いも感じられる気がします。

・同じく5番の「学校の行事は楽しい」という質問については、昨年度同様、3年生はAの児童だけで90%を超え、5年生についてもAと答えた児童が83%にのぼり、A,B合わせると97%になりました。3年生は大庭っ子オリンピックだけでなく、遠足や市内見学など今まで行えていた行事が復活したことで、様々な経験を積むことができ、充実した一年間が送れたのではないかと考えます。大庭っ子オリンピックは形を工夫しながら毎年行っていますが、児童にとっての励みになるということを改めて認識し、学校生活の楽しさにつなげるためにも、私たち教職員でしっかりと根付かせてあげたいと考えています。また、5年生は、5月という早い時期とはなりましたが、ハケ岳野外体験教室を行えたことはとても大きく、一回り成長できたように感じています。

・授業について見てみると2番の「授業の内容はよくわかる」の質問に対して3年生・5年生ともに95%に近い児童がA,Bを選択しています。ただ、詳しく見ると今回3年生では、AとBを選択している割合がほぼ同じでしたが、5年生については、36%がAを選択し、56%がBを選択するなど、学年によっての差が見られました。学習内容の難しい5年生であっても根気強く指導していく大切さは感じます。逆に3年生は、中学年に入り、教科が増え、難しさもレベルアップしてきたことから、「よくわかる」につけられない児童のともども見え隠れしているように感じました。「全員の児童がわかるように…」という担任の思いはどの学年でも一緒ですが、「わかる」という感情が個人によって違うので、クラスの子どもたち全員が「わかる」という思いを持てるよう、常に教える側の意識をしっかり持って指導にあたっていきたいと思います。

・学習については、4番で「授業内容に興味を持ち、勉強に取り組んでいる」という項目で聞いていますが、わかる楽しさが実感できる3年生では、A,Bあわせると85%の児童にのぼりますが、5年生ではA,Bあわせても74%にとどまりました。授業については難しくなってくる高学年がどうしても学習を避けがちになりますが、興味を持って自ら学ぶ子の育成を目指して教材との出会わせ方も含めてしっかりと教員側が準備していくことが大切と考えています。

・毎年、課題に挙げられる3番の「自分の思ったことや考えたことを発表する」は、今年度も3年生でA,Bあわせて80%、5年生で71%にとどまってしまうました。昨年度の3,5年生に比べるとどちらも5%ほど

数値的には下がっています。児童の実態についても違いがありますので、一概に比べられませんが、コロナの経験が3年間にわたっており、特に3年生は入学したときからコロナのために、分散登校やマスクの生活を余儀なくされていたことを考えると、発信することに抵抗が出てしまうのもその一因となっているのかもしれない。このようなコロナの中でも学習を続けてきた子どもたちに対して、発信することの大切さを分かってもらうためにも、一斉授業だけでなく、ペア学習やグループ学習など、自由に交流するような場をさらに増やす必要があると思います。

・今回6番の「友だちと仲良く過ごす」という質問に5年生は A,B あわせて90%、3年生では96%になりました。どちらも決して低い数字ではないことを考えるとクラスがまとまっているのだと思います。日々トラブルがおきたり、解決すべき課題があったりと、学校生活は穏やかには過ぎませんが、一つずつ担任や学年で協力して解決し、子どもたちの安心した学校生活に結びつくよう尽力した結果だと思っています。

・教員の指導について見てみると、8番の「まちがったときにきちんと指導している」に3年生、5年生ともに96%、9番の「いじめがいけないことだとわかるように指導している」に3年生97%の児童、5年生96%が A,B と答えています。今年度もまた、教師の指導がしっかりと児童の中に根付いているのを感じました。言葉だけでなく、心にも響くことが大切ないじめに関する指導です。日頃からの指導がきちんと届いていることに安心しました。これを安心材料とすることなく、気を引き締め引き続き、学校全体で取り組んでいきたいと思っています。

・7番の「困ったときに先生やスクールカウンセラーに相談できる」という質問では、3年生では73%、5年生では60%の児童しか A,B を選択していませんでした。ここ数年の傾向として、学年の教員や児童支援担当教諭（みんなの先生）に相談をすることが多く、スクールカウンセラーに相談する必要性を子どもたち自身があまり感じていないように見受けられます。ただ、いざという時の相談先としてしっかり子どもたちに意識付けができるよう、学校側からの発信方法について改めて考えていきたいと思っています。

一学校関係者評価一

今年度も、学校評議員の皆さんにお越しいただき、学校運営について意見交流を行わせていただきました。

・アンケートの評価が A~D の4段階の評価になっているが、曖昧な B、C の評価をやめて3段階評価にしてみるのもよいのではないか。

・先生方も子どもたち同様、自己肯定感が低く見える。まずは大人からの意識改革が必要なかもしれない。

・マスクからの表情はわかりにくいので、マスクのない生活が早く戻るべきでは。

・「作文」を書かせているのか→授業の中では、行事作文よりも意見文などをまとめる機会が増えてきた。

どちらかというと「話す」「聞く」が重視されつつある。

・3年生から5年生への成長は見られるが、保護者の感覚がこのままでよいのか心配になる。

・子どもが学校を出る時のスマホサービスの話しもあるが、逆に子どもがスマホを学校に持ってくることによる別の問題も出てくるのが危惧される。

・昨年と同様の課題が見えている、と考察に書かれているが、それぞれの立場（教員・保護者・児童）によって捉え方は違う。設問にあった答え方を次年度は検討してみるとよいのではないか。

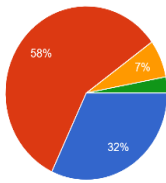
◎コロナ前から大庭小学校では、回答にあたっての選択肢を4段階に分けて聞いていましたが、より分析しやすくしていくためには、評価の方法について見直しを図る時期にきていることを感じました。また、今回は、保護者の方に交通ルールの家庭での徹底や学校だよりの活用、SNS の家庭での抑止についてもうかがわせていただきました。学校と保護者とで同じ方向を向いて指導していくにはとても大事なことだと考えての発信となりました。学校だけでなく、保護者の皆さんとの両輪で児童への教育を考えていきたいと思っています。

一年間、大庭小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。来年度もまた、「児童ファースト」となるよう、教育の根幹を大切にした授業づくりに努めていきたいと思っています。引き続き、大庭小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

学校づくりアンケート」結果報告（保護者集計結果）100名

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

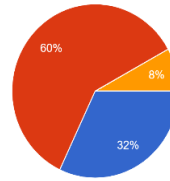
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

2. 子どもは、学校で、友だちとよい関係ができています。

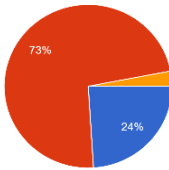
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

3. 学校は、基礎的な学習の理解ができるように努めている。

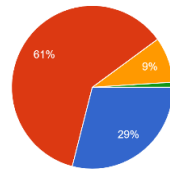
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

4. 学校は、行事（社会科見学や大庭つ子オリン...で楽しく充実したものに鳴よう工夫している。

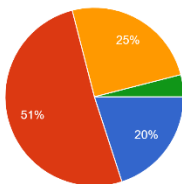
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

5. 学校は、子どもや保護者が困ったこと、悩んでいることについて、相談しやすくなっている。

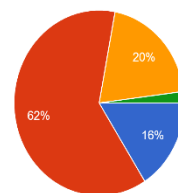
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

6. 学校は、教育目標や指導方針、児童の様子な...保護者や地域に対し、分かりやすく伝えている。

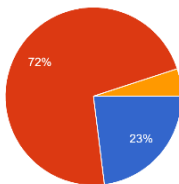
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

7. 学校は、感染症対策を適切に行っている。

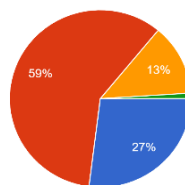
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

8. 家庭では子どもの登校の様子や交通ルールを守っているかなど確認している。

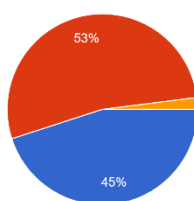
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

9. 家庭では、学校からのお便りやメールなどに目を通している。

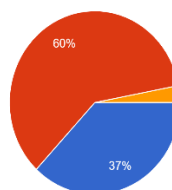
100 件の回答



● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

10. 家庭では、SNSの使い方や放課後の過ごし方についてのルールを確認している。

100 件の回答



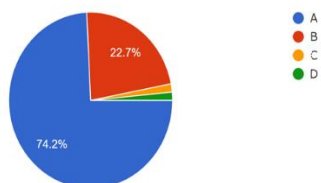
● A とてもそう思う
● B そう思う
● C あまりそう思わない
● D 思わない

(児童集計結果)

3年(66名)

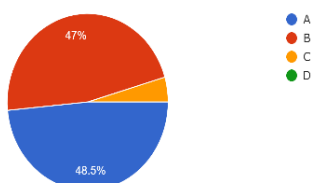
1. 学校に楽しく通うことができる。

66 件の回答



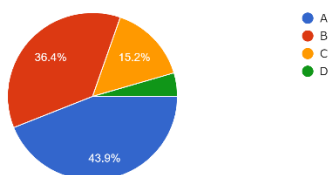
2. 授業の内容は、よくわかる。

66 件の回答



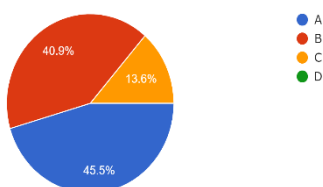
3. 学校で自分の思ったことや考えたことを表現している。

66 件の回答



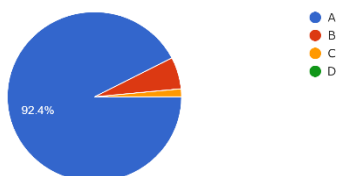
4. 授業の内容にきょうみを持ち、勉強に取り組んでいる。

66 件の回答



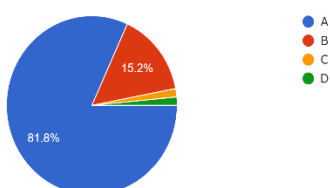
5. 学校の行事（遠足や大庭っ子オリンピックなど）は楽しい。

66 件の回答



6. 友だちとなかよく過ごしている。

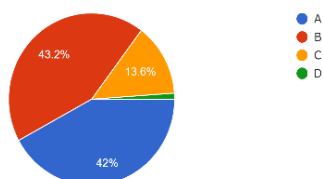
66 件の回答



5年(88名)

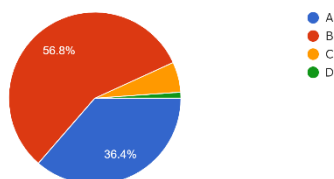
1. 学校に楽しく通うことができる。

88 件の回答



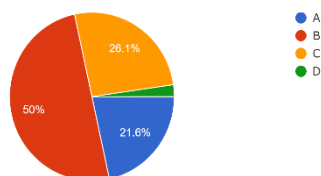
2. 授業の内容はよくわかる。

88 件の回答



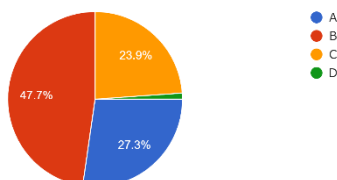
3. 学校で自分の思ったことや考えたことを表現している。

88 件の回答



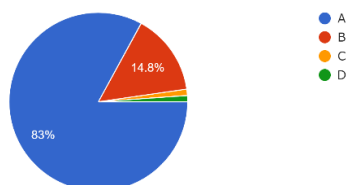
4. 授業内容に興味を持ち、勉強に取り組んでいる。

88 件の回答



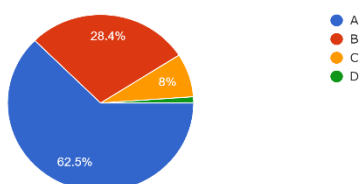
5. 学校の行事（大庭っ子オリンピックやハケ岳体験教室など）は楽しい。

88 件の回答

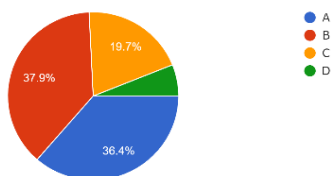


6. 友だちと仲良く過ごしている。

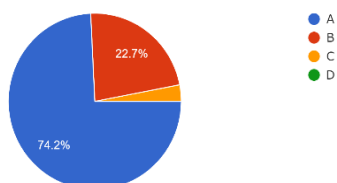
88 件の回答



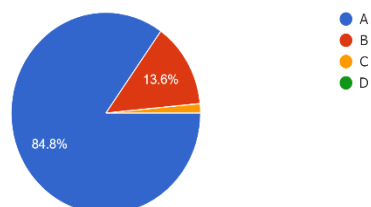
7. こまったときは、先生やスクールカウンセラーに相談することができる。
66 件の回答



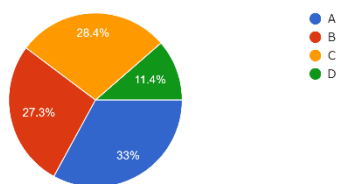
8. 先生たちは、自分がまちがったことをしたときは、きちんと指どうをしている。
66 件の回答



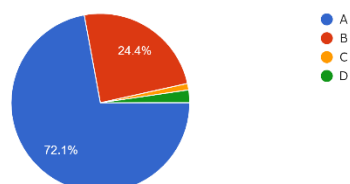
9. 先生たちは、いじめがいけないことだと分かるように指どうをしている。
66 件の回答



7. 困ったときには、先生やスクールカウンセラーに相談することができる。
88 件の回答



8. 先生たちは、自分がまちがったことをしたときは、きちんと指導している。
86 件の回答



9. 先生たちは、いじめがいけないことだと分かるように指導をしている。
88 件の回答

